

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠, and 事業期間.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標, including sub-headers for 30年度, 01年度, 02年度, 03年度, 04年度.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) with columns for 30年度 (実績), 01年度 (実績), 02年度 (計画), and 期間限定総投入量.

Table showing 01年度事業費実績 (千円) and 02年度事業費予算 (千円) with rows for 01報酬, 09旅費, 19負担金補助及び交付金, and 合計.

事務事業名	第74回国民体育大会に向けた開催準備事業	事務事業No.	20404000967	所属課	企画課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成23年3月の定例県議会において知事が国体誘致を表明し、「平成31年第74回国民体育大会」の誘致を決議された。 平成24年11月に桜川市長・桜川体育協会会長が茨城県知事に「ライフル射撃競技の桜川市開催の要望書」を提出し、平成25年2月にライフル射撃（CP以外）競技の会場地として選定を受ける。平成28年7月20日の日本体協協会理事会において、茨城県が第74回国民体育大会の開催地として正式に決定された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> 競技団体から、国体開催に合わせて競技会場周辺のインフラ整備や競技用具整備の要望があった。 市内スポーツ団体から、ビームライフル射撃体験教室の開催協力要請があった。 					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 国体の開催は競技スポーツの振興ではなく、国のスポーツ大会として多くの競技者・大会関係者及び観覧者が本市に訪れるなど、スポーツを軸としてたくさんの人達が集まる事業になりえる。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 国民体育大会開催基準要項に、各競技については会場地市町村が主催として定められている。旧真壁町では前回の国体開催を契機に、地域のシンボルスポーツとして根付き、ライフル射撃の振興を支援し、多くの優れた選手・指導者を輩出してきた。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 国体開催に向けて広報啓発活動を行うことにより、開催気運が高まり、国体を通じて競技スポーツの振興や競技力向上が図れる。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 平成28年7月に日本体育協会理事会で茨城国体の開催が決定されており、桜川市がライフル射撃（CP以外）競技の会場地として既に決定を受けている。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 国民体育大会はスポーツ基本法第26条に基づく事業のため、類似事業や統廃合の可能性はない。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 国体が開催された先権自治体の実施例を参考に、関係団体の協力を進めていく。	
⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 桜川市で開催する競技に対する必要な負担であり、受益者負担を求める事業ではない。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)																				
(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																			
① 目的妥当性 ■ 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 ■ 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 ■ 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 ■ 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国体改革2003に基づき、大会運営の簡素化・効率化により、平成20年第63回大会から大会規模の適正化により参加総数の15%程度の削減。競技会開始式の廃止(平成16年第59回大会から)を行っている。																			
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
(6) 事務事業優先度評価結果	⑥																			
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項																				

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認 国体も無事終了し目標を達成した。